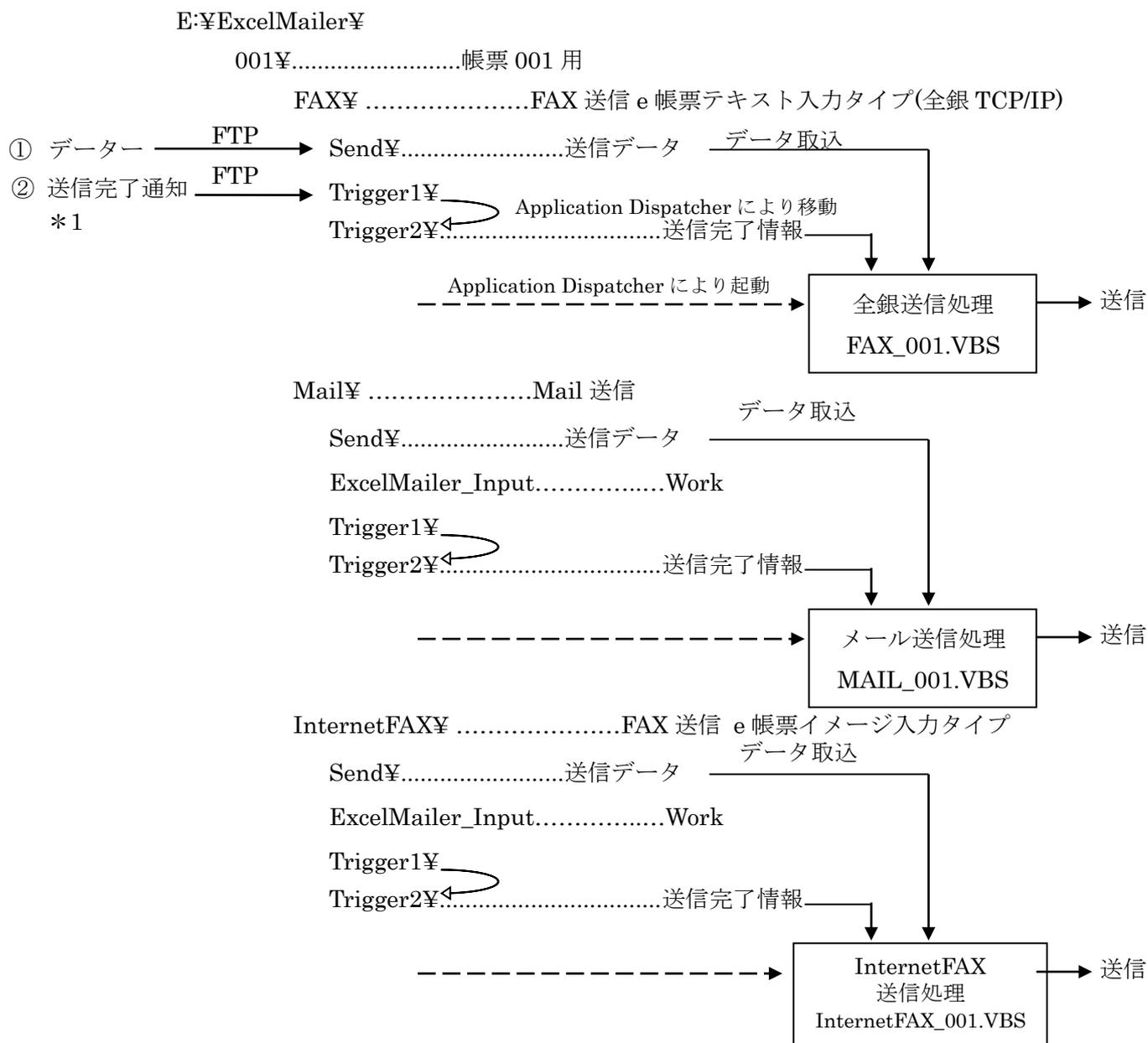


待ち受け処理(Application Dispatcher の設定)の概要

Update 2011/08/28

(1) 送信フォルダ構成 (案)



*1 送信完了通知のファイルは以下の仕様とする。

(1) ファイル名はデータファイルと同一名とする。(拡張子も含む)

(2) 内容はダミーレコード1件とする。

002¥.....帳票 002 用

FAX¥FAX 送信 e 帳票テキスト入力タイプ(全銀 TCP/IP)

Send¥.....送信データ

Trigger1¥.....送信完了通知 (待ち受け用)

Trigger2¥.....送信完了通知 (ユーザーAP 用)

Mail¥Mail 送信

Send¥.....送信データ

ExcelMailer_Input....Work

Trigger1¥.....送信完了通知 (待ち受け用)

Trigger2¥.....送信完了通知 (ユーザーAP 用)

InternetFAX ¥FAX 送信 e 帳票イメージ入力タイプ

Send¥.....送信データ

ExcelMailer_Input....Work

Trigger1¥.....送信完了通知 (待ち受け用)

Trigger2¥.....送信完了通知 (ユーザーAP 用)

(2) FAX 送信 e 帳票テキスト入力タイプ(全銀 TCP/IP)の処理

送信手順 (基幹系より)

Send¥.....ステップ 1 データを Send¥に送り込む。

Trigger1¥.....ステップ 2 データ送信完了後、送信完了情報として
ファイル名情報を送り込む。

待ち受け処理

Trigger1¥.....ApplicationDispatcher はこのフォルダーを監視し、データが
到着すれば送信完了通知ファイルを Trigger2¥に移動し指定された
ユーザーAP を起動します。



全銀送信処理 (ユーザーAP)

FAX_001.VBS

1. Trigger2¥にある送信完了ファイル名を取込み Send¥にある該当
ファイルを送信する。
2. 送信成功したファイルは消去する。(Send¥および Trigger2¥から)
3. エラー等で送れなかったファイルはそのまま残す。

(3) メール送信処理

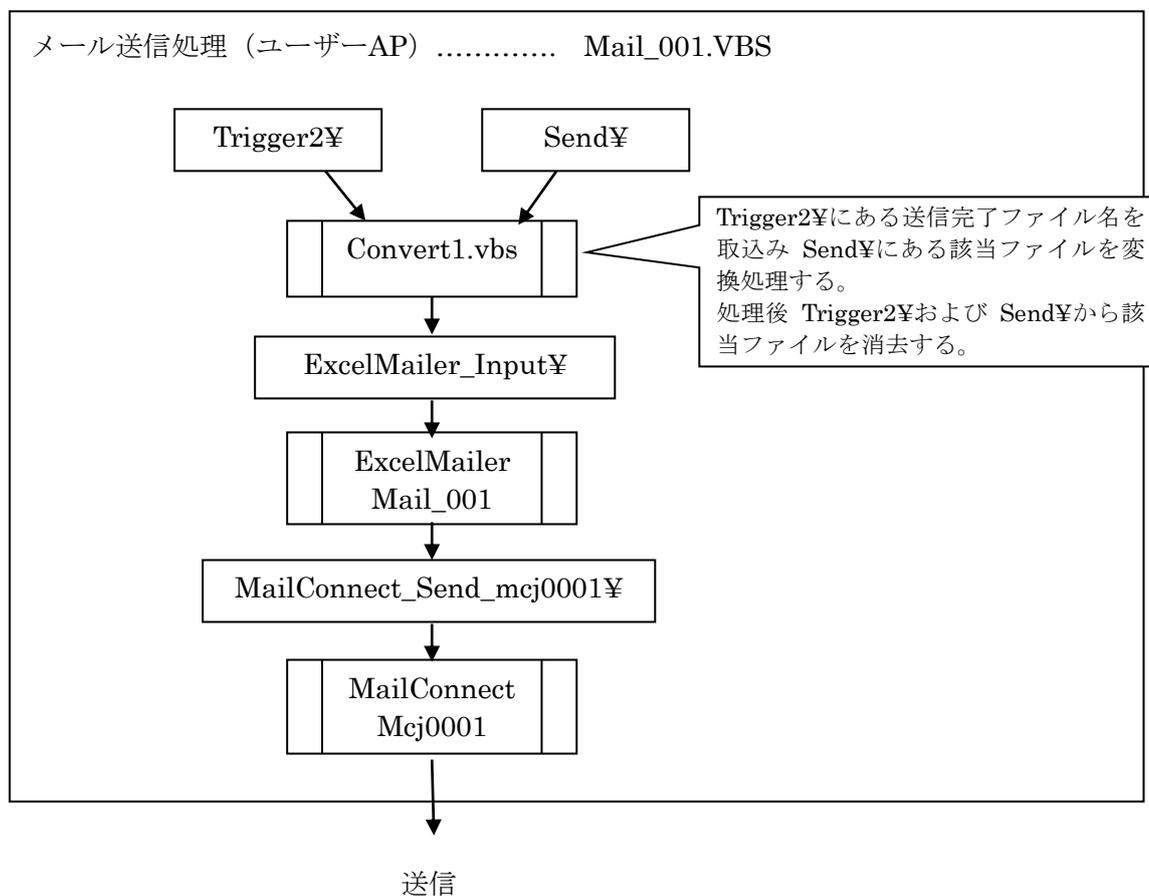
送信手順（基幹系より）

Send¥.....ステップ 1 データを Send¥に送り込む。

Trigger1¥.....ステップ 2 データ送信完了後、送信完了情報として
ファイル名情報を送り込む。

待ち受け処理

Trigger1¥..... ApplicationDispatcher はこのフォルダーを監視し、データが
到着すれば送信完了通知ファイルを Trigger2¥に移動し指定された
ユーザーAP を起動します。



(4) FAX 送信 e 帳票イメージ入力タイプの処理

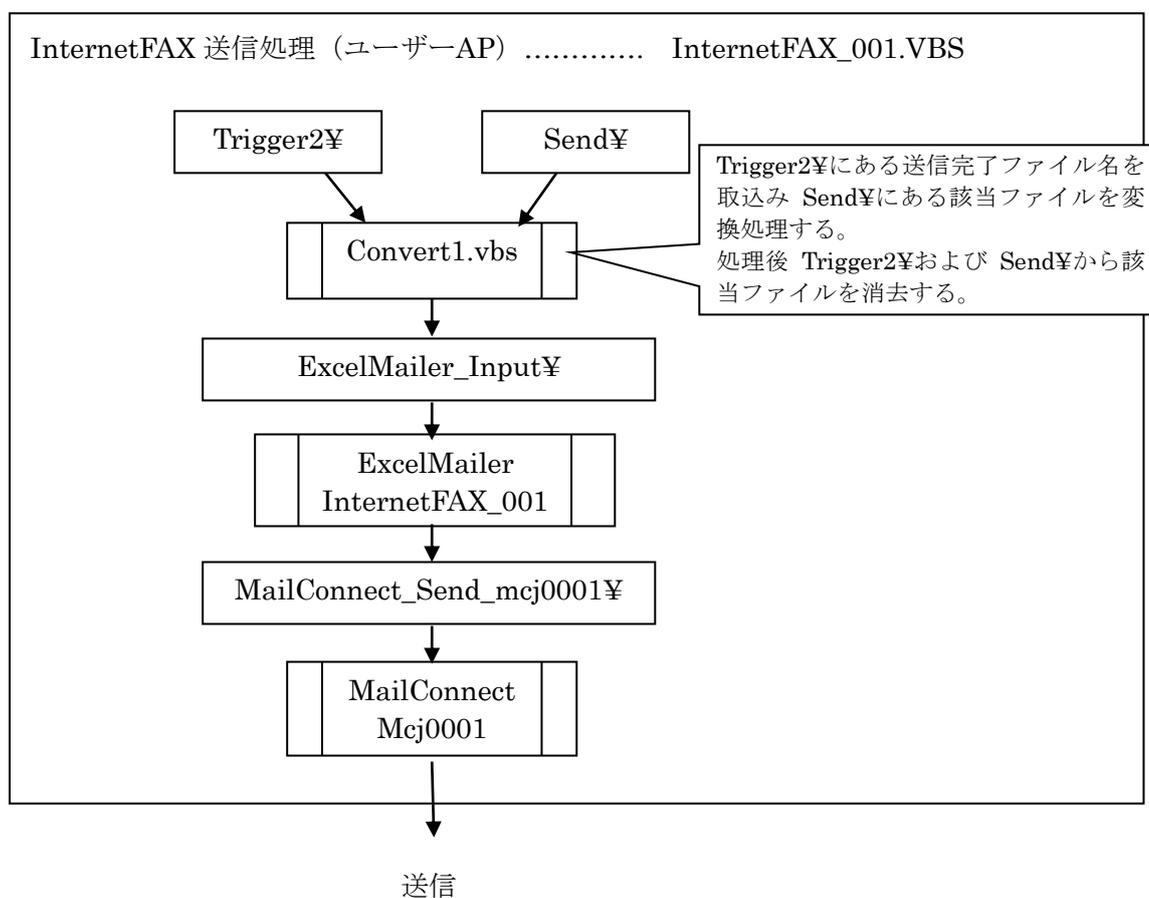
送信手順 (基幹系より)

Send¥.....ステップ 1 データを Send¥に送り込む。

Trigger1¥.....ステップ 2 データ送信完了後、送信完了情報として
ファイル名情報を送り込む。

待ち受け処理

Trigger1¥..... ApplicationDispatcher はこのフォルダーを監視し、データが
到着すれば送信完了通知ファイルを Trigger2¥に移動し指定された
ユーザーAP を起動します。



(5) Application Dispatcher 設定

起動するプログラムを指定

全ての Trigger フォルダを指定する

Trigger2 フォルダを設定

Trigger1 フォルダを設定

明細

Trigger1 フォルダを設定

Trigger2 フォルダを設定

起動するプログラムを指定

(6) 起動

手動で起動する場合： 常駐ボタン

0 分毎に実行

コマンドラインで起動する場合

```
C:\Program Files\Internet_EDI_Pro_Application_Dispatcher\*1
PROGRAM\Application_Dispatcher.exe 業務名/I0
*1 : インストール時、設定したフォルダ
```